

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

財務省は10日、国債と借入金、政府短期証券を合計した国の借金が2021年3月末で約1292兆円に達する見込みで、国民一人

当たりの借金が1千万円を突破すると発表された。

国の借金も家計の借財も借りたものは返さなければならぬが、「増税と歳出削減の正攻法での財政再建は、国民生活への影響があまりに大きく現実的ではない」とし経済学者の松谷明彦さんは「コンソル債」の導入も、選択の1つだと提案している。「コンソル債」とは、利子だけを返して元本の返済は永遠に先送りする永久公債のことだ。債務を「コンソル債」で借の換え、利息だけを支払う。国債の保有者は、何時で

も売って換金できるし、国民も大幅な増税で苦しむ事は無いのだが、いざ現実化するとなると複雑な気持ちになるのは、財政規律に取り組む多くの関係者に、将来への希望に水を差し、いくら借金を

えて大きく情報発信された。要職だが、1998年の長野オリンピックで(財)長野オリンピック冬季競技大会組織委員会の会長は、と問われて、会長名を答えられる人はわずかだ。会長は、新日本製

日本型組織の弱点を思い知る

しても良いのだとの財政運営が蔓延するのかと、危惧を抱いてしま

鐵社長・経済団体連合会会長など歴任した日本の著名な実業家の齋藤英四郎さんだった。2002年に90歳で亡

女性蔑視発言で東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長が辞職した。会長辞任の報道は世界をも加

会長は、誰でも良いと言っている訳ではない。財源確保に経済界

に大きな影響力を与えた取り組みは、今も強く印象に残っている。今回の森さんの発言「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」この「女性」を置き換えて考えてほしい。「政治家」「男性」「高齢者」「若者」。要するに、性別や年齢層では判断できない事が解るはずだ。会議の在り方を、多くの国民が考えさせられたはずだ。

の内村航平選手が「東京五輪はできないのでは無く、どうやってやるか皆で考えてほしい、やり方は必ずある」と力強く訴えた。今こそ、組織委員会は、オ

リ・パラが終われば解散する組織だが、新会長には美務的な力量を期待したい。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

東京オリ・パラ開幕まではあとわずかだ。体操の国際大会「友情と絆の大会」の閉会式の選手代表スピーチで五輪男子総台2連覇中



2月休日のスキー場、にぎわいから、屋外スポーツの魅力が伝わってくる